



群峰

札幌市立西岡北中学校 学校だより
第4号

令和2年9月18日 発行

〒062-0033 豊平区西岡3条8丁目1-1

TEL853-2422 FAX853-0396

<http://www.nishiokakita-j.sapporo-c.ed.jp/>

各学年の旅行的行事

日々行事 1学年主任 佐々木潤

8月下旬に行われた芸術の森野外美術館での校外学習。多くの1年生のみなさんが「よく笑い、たくさんの楽しい思い出ができました。またみんなと行きたいです。」や「班員との絆が深めることができました。これからの生活に生かしたいです。」や「これからも一つ一つの行動を考えて行いたい。」また、「時間通り行動が出来て成長をしたと思いました。」や「困った人がいたらその人に声をかけられるように、日常生活にも生かしていきたいと思いました。」など、行事を通して成長した姿を実感していました。とてもうれしく思います。実は、学校生活の**毎日**が、輝きのある「行事」です。成長できるチャンスが毎日たくさんあります。これからも「日々行事」を通して成長していく姿を楽しみにしています。

8月28日に好天の中、芸術の森で班でのウォークラリーや個人での芸術鑑賞などの活動をしてきました



家族で見た花火 2学年主任 太田祥史

2学年家族で見た洞爺湖の湖面にキラキラと映る色とりどりの花火。至近距離で打ち上げられた花火の音は私たちまでビリビリと届いてきました。花火や楽しい行事は一瞬で終わってしまいますが、宿泊学習で学んだことは今も私たち心の中に響いています。

宿泊学習を通じて、2学年は絆を深めただけではなく、人との関わり方について深く考えました。ひとつひとつのあいさつや、物事に対して、もっと「自分から」もっと「本気で」取り組んでみないか？そう問いかけられた2学年の心の中には確実に小さくも熱い火が灯っています。その小さな「火」はこれからきっと大きくなり、周囲を明るくし、関わる人たちに温もりを与えてくれるはずです。

「西岡北中学校大好き！」そう言って卒業していけるように、もっとこの学校を楽しく、もっとこの学校が大好きになるように。3年生に対して「かわいい後輩」となり、1年生に対して「たくましい先輩」でいられるように。2学年の挑戦はここから始まります。保護者の皆様、いつもご理解ご協力をいただきありがとうございます。心に火が灯った157名の卒業まで、あと半分です。

8月31日から9月1日、苫小牧のなごみの森で林業体験、早めにホテルに入り学年レクや花火鑑賞を行いました。2日目は京極のふきだし公園を散策、壮瞥の果樹園でぶどう狩りをしてきました。



修学旅行を終えて 3学年主任 山下理志

新型コロナウイルスの影響で…日程・行き先の変更を余儀なくされ…さらに第二波の心配があった修学旅行も無事終了することができました。旅行前の結団式では、修学旅行の目標に加え、この状況下でも「修学旅行を自ら楽しむ」べく、次の3つのお願いをしました。①旅行的行事の三年間の集大成として「凡事徹底」…学校で行っている挨拶などを学校外でも実践すること。②コロナ対策として、距離・栄養・睡眠をしっかりとること。③ルールを守って楽しむこと…です。修学旅行前半は…全体的に距離感を意識し過ぎたのか…挨拶・反応などの課題がありましたが、日を重ねるごとにどんどん自ら楽しもうという姿勢をもつ生徒が増え、それに伴い、課題も解決していったように思います。また実行委員を中心に自ら学年・学級に貢献していこうという動きも見られました。学年全体として成長を感じられた良い修学旅行になったと思います。これから受験に向けての活力にもなったはず…なので、学年全体のさらなる成長を期待しています。

8月25日から27日、バスで釧路に向かい、湿原を散策し阿寒に宿泊しました。2日目は阿寒湖遊覧し、十勝でアグリナピックをし、ホテルでは学年レクを行いました。3日目は十勝川でラフティングを行い、夕方、札幌に帰りました。



教育実習生の紹介・放課後学習サポート

齋藤成龍先生、小林拓也先生、江田みずほ先生の3名が、本校で2学期から教育実習をしています。どの先生も生徒と積極的に関わり、生き生きと実習に取り組んでいます。また、9月14日までの期間に放課後学習サポートが行われました。学年ごと決められた日に放課後1時間程度、参加した生徒に実習生が学習のサポートをしました。大変好評で今後も実施を予定しています。日時など決まり次第またお知らせしたいと思います。

教育実習を行って 江田みずほ

今回の教育実習・養護実習の中で、私が最も大きな収穫だと感じたことは、生徒たちのさまざまな姿を目の当たりにし、中学生のリアルな実態を知ることができたことです。生徒たちは非常に個性豊かで、それぞれに異なる持ち味を発揮しながら生活していました。しかし、その裏では、いろいろな悩みや葛藤を抱えていることも見えてきました。また、私は実習期間の半分を教室、もう半分を保健室で過ごしましたが、生徒たちが教室で見せる姿と保健室で見せる姿は、ときに大きく異なると感じました。このように、生徒はいろいろな側面を併せ持っていることを理解したことで、その一人一人の学びを支える教師という仕事の難しさを知るとともに、この仕事を通して得られるやりがいを実感しました。この感覚を、自分が将来教師として働く際の基礎にしたいと思います。大変貴重な経験をさせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

学校での感染防止対策について

2学期も引き続き、感染防止対策をしながらの学校生活になります。密をできるだけ避け、こまめな手洗いを呼びかけながら日々の教育活動を行っています。旅行的行事においても、移動ごとの手指の消毒や朝夕の体温測定など、例年と違った慎重な対応をしながらの実施になりました。ご家庭のご協力もあり、幸いにも現在感染症の発症は見られていません。今後もマスクの着用、朝の検温と健康チェックなど生徒・保護者のご協力をいただき、感染対策を行いながらの学校生活を進めていきたいと思っています。